

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



5年生が デイキャンプをしたよ!

6月30日(金)の午後から夜にかけて、5年生が津市青少年野外活動センターにおいて、デイキャンプを行いました。今年のテーマである「サマー☆一発 ～全力で協力しよう～」のもと、5年生の子どもたちは、準備の段階から一生懸命に取り組んでいました。出発直前に滝のような大雨が降ってきたときには、キャンプファイヤーができないのではという思いも少々ありましたが、子どもたちは、元気に盛り上げての出発となりました。

当日は、13時20分に学校を出発し、14時前には目的地である、津市神戸の青少年野外活動センターに到着しました。到着したら、すぐに入所式です。挨拶の後、デイキャンプのタイムテーブルや施設での約束事の確認をしました。その後、食堂に場所を移し、伊勢型紙の体験です。子どもたちは、集中しながら、素敵な作品を仕上げていました。



伊勢型紙体験のあと、夕食の準備までに時間があったので、施設内の広場で遊んだり、虫探しをしたりするなど、思い思いに楽しく遊びました。トトロとフクロウも見つけました。さあ、いよいよ夕食の準備です。15名の子どもたちが3つの班に分かれて、それぞれの役割に分かれて準備を始めます。カレー係は、野菜などの材料を包丁で切り始めます。ごはん係は、お米をかして、飯盒の準備をします。かまど係は、苦心しながら火を起こそうとします。煙が目染みて涙が出てきそうです。それでも何とか完成にこぎつけました。

さあ、みんなで「いただきます」です。みんなで協力しながら、外で作ったカレーライス。家庭科室で作ったカレーライスもおいしかったのですが、その時よりもさらにおいしく味わうことができました。もう、すべてのものに対して、感謝感謝ですね。





食事の後片付けをしたあと、松本前校長からいただいたスイカを、みんなで美味しくいただきました。さあ、次は、お待ちかねのキャンプファイヤーです。時折小雨が降る中での夕食時間だったので、キャンプファイヤーができるかどうか、できても最後までできるかどうか心配しながらのスタートとなりました。「はじめの言葉」のあと、「遠き山に 日は落ちて」の歌に合わせて、学校長扮する「火の神」が入場しました。その「火の神」のお話のあと、5名の代表が「努力」「友情」「健康」「勇気」「感謝」の火を「火の神」から授かり、「誓いの言葉」を発しました。そして、「燃えろよ 燃えろ」に合わせて、「点火」です。すると、今にも雨を降らしそうな雨雲を振り払うかのように、炎が大きく上空まで舞い上がりました。

いよいよレクリエーションの開始です。「おおかみさん今何時?」「猛獣狩りに行こうよ」「〇×クイズ」「だるまさんの一日」「ジェンカ」など、楽しい企画が目白押しです。始まる頃はまだ明るかったのですが、いつの間にか、ほの暗くなってきました。最後に、地面に敷いたシートの上に寝そべり、残念ながら星空は見えませんが、星空があるつもりの星空観察をしました。普段なら、友だちと一緒に過ごす時間ではないためか、何かとっても楽しく感じます。あれよあれよと時間が経ち、あっという間に、フィナーレの時間となりました。最後に「今日の日さようなら」をみんなで歌い、キャンプファイヤーの時間が終わりました。



デイキャンプのすべての行事が終了し、最後に退所式がありました。みんなが元気に楽しく過ごすことができたこと、それが何よりでしたが、あきらめかけていたキャンプファイヤーを最後までやり切れたことは本当に嬉しかったですね。退所式が終わり、青少年野外活動センターを出発したバスは、予定より少し早い時刻に学校に到着しました。最後の挨拶を終え、お迎えに来ていた保護者とともに、子どもたちは、家路につきました。保護者の皆様、子どもたちのお迎え、ありがとうございました。